

# 要 望 書

京都市長 松井 孝治 様

令和8年4月24日

教業自治連合会 会長 塚兼 弘純

松井京都市長をはじめ、京都市職員の皆様におかれましては、京都市の発展のため、日々ご尽力をいただいていることに敬意を表します。

さて、世界文化都市宣言（昭和53年10月15日）の冒頭には、「都市は理想を必要とする」と書かれています。

元教業小学校は、明治2年、維新後の京都の再興を「人づくり」にかけた町衆の英知と熱意によって、全国に先駆けて上京第二十三番組小学校として設立されました。学校が設立されてから156年、閉校となって33年が経過した今も、輝かしい伝統と歴史を継承し、数多くの人材を育むとともに、自治会活動の拠点として、また、地域住民の憩いの場としての役割を担い、地域に愛され続け、今日に至っています。現在も約100年前に建設された校舎と講堂などが現存しています。

そのため、跡地活用においては、安心安全に自治会活動並びに諸活動を行うことができるよう、早期に再整備していただくことを切に要望します。

加えて、この学校跡地周辺が、歴代天皇の遊宴の庭園があったという歴史的な特性を生かして、新京都戦略に掲げられている、時代を継いで人々が集い、交じる、コミュニティとしての魅力をもつパブリック「テラス」（居場所：人と人、人と自然を触れあわせ、内と外をつなぐ共有空間、新京都戦略：京都市の定義）の趣旨を踏まえた活用をしていただくことが私たちの強い願いです。

教業学区は御池シンボルロードの西に位置し、平安京遷都においては都市区画として条坊制がとられ、その内の一区画の名称「教業坊」が名前の由来とされています。

学区内には「世界遺産 二条城」、平安遷都とともに宮中附属の禁苑（歴代天皇の遊宴の庭園）として造営された「神泉苑」、重要文化財「二条陣屋」など、数多くの名所旧跡や文化が残る中、多くの人々の暮らしが息づいています。一方、今日では、ホテルや民泊が数多く建設され、昼夜、多くの海外からの観光客が行きかう地域に変貌してきています。

元教業小学校は、都心部における児童数の減少により平成4年3月末に閉校となりました。平成7年からは北校舎に社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会が入り、中京区民のための地域福祉の拠点として活用されています。

今もなお、学校創立当初の「まちづくりは人づくりから」という理念を受け継ぎ、交流し、絆を深める「まちづくりの拠点」として、重要な役割を果たしています。しかしながら、校舎の老朽化が進み（南校舎と講堂は93年、北校舎は68年が経過）、耐震性能が不足しているため、地域の防災拠点として、耐震改修など施設の再整備が待ったなしの状況となっています。

平成6年8月に策定した「都心部における小学校跡地の活用についての基本方針」において、教業小学校跡地は身近用地のうち地域体育館構想に基づく施設に指定されました。

以降、京都市とは、教業地域の更なる活性化と「子どもから高齢者までが集う施設」として、幾度となく跡地の整備に向けた協議を進めてまいりましたが、今なお活用には至っていません。

つきましては、「元教業小学校跡地活用に係る契約候補事業者選定のための募集要項」（平成30年3月）の内容を基本に、これまで積み上げてきた経過を踏まえて、次の点について要望します。

### 具体的要望

- 一、 学区民のいのちと暮らしを守り、今後も自治活動並びに避難所として安心安全に利用できるよう、老朽化した学校施設を早急に再整備することを要望します。  
とりわけ、災害時の避難施設となるべき講堂（体育館）については、老朽化により天井や壁が崩れ落ちてきており、早急な整備を要望します。
- 二、 整備にあたっては地域コミュニティ活動の拠点の確保をお願いします。
- 三、 教業学区は、多くが住宅密集地にも関わらず、公園やオープンスペース(広場)がないため、小学校跡地のグラウンドは、地元消防分団の訓練用地や避難場所としての機能をはじめ、区民の貴重な防災の拠点となっています。また、区民体育祭、各種スポーツ、更には健康づくりなどを通じた地域コミュニティの拠点として活用されています。学校跡地の活用に際しては、これまでの機能が維持できるよう要望します。
- 四、 北校舎は、現在京都市中京区社会福祉協議会として施設利用されています。引き続き利用できるよう検討をお願いします。
- 五、 御池シンボルロードの西に位置し、二条城、神泉苑、二条陣屋など名所旧跡と歴史文化が続いている教業学区の特徴を生かして、人々が交流することができる場所として活用されることを要望します。